第22回宝塚市子ども議会 提案・要望事項への対応状況について



令和6年(2024年)3月 宝塚市

目 次

| 雲雀丘学園小学校 | 6年 | 小林 友愛 | • • • 1 |
|-----------|----|--------|---------|
| 宝塚小学校 | 6年 | 藤原 将之 | •••2 |
| 長尾小学校 | 6年 | 早川 優莉夏 | •••3 |
| 西谷小学校 | 6年 | 角野 愛姫 | • • • 4 |
| 西山小学校 | 6年 | 堀 花楓 | • • • 5 |
| 逆瀬台小学校 | 6年 | 渡邊 新良太 | • • • 6 |
| 末広小学校 | 6年 | 福富・柚奈 | • • • 7 |
| 安倉北小学校 | 6年 | 小宮路 実子 | • • • 8 |
| すみれガ丘小学校 | 6年 | 西来未 | • • • 9 |
| 宝梅中学校 | 3年 | 森脇 高嶺 | •••10 |
| 高司中学校 | 3年 | 立脇 圭人 | •••11 |
| 南ひばりガ丘中学校 | 3年 | 村上 德真 | •••12 |
| 中山五月台中学校 | 3年 | 上田 遥斗 | •••13 |
| 宝塚西高等学校 | 2年 | 澤田 一陽 | •••14 |
| 雲雀丘学園高等学校 | 2年 | 北川 彩葉 | •••15 |

担当部:環境部(業務課)

テーマ カラスとの共存について 小林 友愛

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私の家の周りでごみが荒らされている所があります。荒らしているのはカラスで す。登校時によく見かけます。3、4羽で荒らしている時もあります。その荒らされた ごみが歩道にも散乱していることもあり、邪魔です。また、そのカラスが私におそい かかってきそうでこわいです。街がよごされているのもいやです。今年になってカラ スが増えてきているように感じます。それは、本来住んでいた森が減少したことやカラスは何でも食べることから、街中では生ごみなど栄養価の高いエサが容易に得られ ることなどが考えられます。また、街中は天敵が少なく暮らしやすいことも理由だと思います。これらのことについて宝塚市が現在取り組んでいることは何ですか。ま た、今後の対策はどう考えているのですか。私は、まずごみ捨て場を全て箱形のゴミステーションにすれば良いと思います。そうすればごみを荒らされなくなり、エサがなくなれば暮らしにくくなってカラスが帰っていくと思います。なのでその森林をこれ以上減らさないことが大事です。カラスを3000のではなく、人と共存ればあるないによったが2011年である。 し、自然を守り残していくべきです。それがSDGsの達成につながります。そもそもカラスが街中に増えたのは人のせいなので、私たちの手で森林に返してあげたいと思 います。以上のことから私は、宝塚市にある全てのごみ捨て場を箱形のゴミステー ションにすることを提案します。

カラスとの共存についてですが、ごみステーションに出されたごみをカラスが荒ら すカラス被害については、多くの方からご相談をいただいています。 本市が行っているごみステーションのカラス被害対策ですが、カラスに荒らされや

すい燃やすごみを優先して午前中に収集し、散乱防止に努めています。一方、市民の

9 い然やすこみを優先して午前中に収集し、耐品的正に劣めています。一方、市民の皆様には、夜間にカラスにごみが荒らされることを防ぐために、ごみは前夜に出さずに、決められた曜日の朝8時までに出すようお願いしています。 さらに、道路上のごみステーションをご利用の方には、カラスが嫌がる辛み成分入りの防鳥(ぼうちょう)ネットの貸し出しを行うとともに、3年以上使われた古いネットの交換も行っています。また、防鳥(ぼうちょう)ネットの効果的な使い方を本市のホームページで写真を使って分かりやすくお知らせしています。 それらの対策と同時に、本市のSDGs(エス・ディー・ジーズ)の取り組みの一つとして、東民の装様には、ごみを減らす努力をお願いしたいと考えています。 本市では

て、市民の皆様には、ごみを減らす努力をお願いしたいと考えています。本市では、 家庭から出るごみの減量化・資源化の方法として、ごみになるものを減らす「リ デュース」、ごみにせず繰り返し使う「リユース」、ごみを資源として再生利用する「リサイクル」の3つの頭文字をとった3R(スリーアール)の推進に取り組んでいます。また、燃やすごみは、できるだけ水けを切って出していただくなど、皆さんのご家庭でもできることから取り組んでいただき、ごみを減らすことができれば、防鳥(ぼうちょう)ネットからはみ出すことも少なくなり、結果的にカラス被害の軽減につなが ると考えています。

次に、箱型のごみステーションについてですが、小林議員がお考えのように、箱型 の「ごみボックス」はカラス被害の防止対策として大変有効ですので、マンションや

集合住宅の敷地内のごみステーションであれば、設置していただいています。 一方、箱型のごみステーションを道路上に設置することについては、歩行者が躓(つ まづ)いて怪我をすることや、自転車やバイクの転倒事故の原因となる恐れがあること から、道路通行上の安全確保という点で課題があります。

そこで、本市では、折り畳んで片付けることのできる「ごみボックス」について、 ごみ収集後は折り畳んで片付けることを条件に、本年4月より購入費の一部を補助する 制度を始めています。

これらの取組により、カラス被害の軽減だけでなく、街の美化という効果もあると 考えています。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

答弁のとおり、防鳥ネットの使用方法やごみの減量化・資源化などの啓発について は、継続的に実施しています。

また、折り畳みネットボックスの購入費補助金についても、継続する予定です。

環境部(業務課)

担当部課:都市安全部(道路管理課)

議員名 |藤原 将之 |テーマ|緑の道を増やすか、ガードレールを増やす

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

まずぼくが提案するのは「緑の道を増やすか、ガードレールを増やす」ということです。なぜ、提案したかというとぼくの校区内には車がふきゅうする前につくられた古くて細い道が多く、歩行者と自転車と自動車が近くあぶないからです。

この前、ぼくが自転車で道を走っていたら、車が向こう側からやってきてぶつかり そうになりました。友だちもこのように、ぶつかりそうになったことがあると言っていました。そして、最近自転車を始めた弟も「ふつうの道でじっせんしようとしても道が細すぎて、あぶないからできない」と言っていました。もし、道幅が増やせるならそれにこしたことはないけど無理だと思います。だから緑の道を増やすか、ガードレールを増やしてほしいです。これが実現したら、ガードレールで歩行者を守れるし、緑の道で歩道と車道がくっきり分かれます。そうなると事故数もグーンと減ります。そしたら歩行者の安心度もグーンとあがって安心して道をあるけるようになります。

毎日みんなもぼくも安全・安心して道を使えるように工夫を考えてはいるけどまだ 安全には使えません。このようなことからぼくは、「緑の道を増やすか、ガードレールを増やす」に提案しました。

答弁:

本市では、市内の交通事故が起こりやすい危険な箇所について、学校や地域の方などからご要望をいただき、歩道のない道路へのグリーンベルトやガードレールの設置のほか、見通しの悪い交差点へのカーブミラーの設置や、注意喚起の看板の設置、夜間に暗い場所への街路灯の設置など、幅広く交通安全対策に取り組んでいます。 緑の道やガードレールを増やすことについては、ご要望いただいたち馬街道と市道

緑の道やガードレールを増やすことについては、ご要望いただいた有馬街道と市道 川面宝塚線の交差点付近の現地の調査を行ったところ、緑の道による安全対策が完了 していました。一方で、道路の幅が狭い場所では、ガードレールの設置や、道路の端 を緑色に塗ることが難しいため、代わりに注意を促すマークの設置や、柔らかい素材 のポールの設置、交差点を赤色に塗るなどの対策を行うことが考えられます。

今回ご要望いただいた場所のほかに、通行に危険を感じる場所がありましたら、保護者の方か、通学路であれば学校にご報告いただき、本市道路管理課にご相談ください。

一番大切なことは、皆さんが交通事故に遭わないことです。皆さんも自転車に乗るときにはヘルメットを着用し、すぐに停止できるような速度で左右を確認して走行するなど、交通事故に遭わないよう十分に注意してください。

本市では、藤原議員のご提案のとおり、これからも学校や地域の方と協力して、緑の道やガードレールなどの交通安全対策に取り組んでいきます。

進捗状況:

完了

進捗状況説明欄:

答弁のとおり、調査・対応しました。今回ご要望いただいた場所のほかに通行に危険を感じる場所がありましたら、道路管理課までご相談ください。

都市安全部(道路管理課)

担当部課:都市安全部(防犯交通安全課、道路管理課)

テーマ 住みよい街 宝塚市 早川優莉夏

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は、安心・安全で住みやすい宝塚市にするために街灯や防犯力メラの設置数を増 やすことを提案します。

子供が被害を受ける犯罪や交通事故のニュースが多く起こっています。そんな中で自分達が住んでいる地区に防犯カメラがどれくらい設置されているのかを調べてみる と校区内には20台しか設置されていませんでした。

クラスで調査をしてみると、どこについているのかという認知度が低いことがわかりました。(資料参照)自分達が住んでいる地区は安心で安全に向けた取り組みを 行っているんだというアピールも必要なのではと感じました。設置にむけての取り組 みの中でプライバシーや費用などの問題もあるかと思いますが、市内全体でみても 230台は、少ないように思いました。伊丹市では見守りカメラや安全・安心カメラな どがたくさん(1,200台)設置してあります。見守りカメラをふくめた防犯カメラの設置を進め、安全に暮らすことができる街づくりをすることが必要ではないかと私は 考えます。

またそれと並行して街灯の数も大変少ないと感じます。自分たちが薄暗い中を歩い ていると自転車、車に気づいてもらえないことがあります。歩行者自身も自分を守る ためライト反射板などの対策も大切ですが、街灯を増やすことで市民の安全の確保が できるのではないかと考えます。以上のことから私はこの二つのことを提案します。

答弁:

防犯カメラにつきましては、本市では、犯罪を未然に防止し、市民の日常生活の安 全を確保するため、宝塚警察署とも協議の上、公共性が高い駅周辺や主要幹線と生活 道路の交差点などに、「安全・安心カメラ」の名称で、230台の防犯カメラを設置し ています。その内の約7割が小学校の通学路と重なる配置となっており、小学生の見守

りの意味でも一定の役割を果たしているものと考えています。 また、県や市の補助金を活用して、自治会などの地域団体が地域内に設置している 防犯カメラも、現在、市域全体で109台が稼働しています。

防犯カメラの設置については、防犯力(ぼうはんりょく)を更に高めるために増設を希 望される方がおられる一方で、個人のプライバシー保護の観点から行政による防犯カメラの設置は好ましくないと考える方もおられます。

また、自治体によっても防犯カメラの設置について考え方に違いがあり、阪神間の 市町でも設置状況は様々です。

本市としては、他の自治体の取組状況を参考にしながら、現在設置しているカメラ の効果を検証し、 今後の運用について検討したいと考えています。

次に、街灯を増やすことにつきましては、街灯は夜間の交通安全と犯罪防止に大変 重要な役割を果たすものと考えています。

早川議員からご要望いただいた長尾小学校から松尾神社南側までと、山本園芸流通 センター西側から天満(てんまん)神社西側までの道路について現地の調査を行いまし

概ね適正な間隔で設置されていましたが、一部で間隔が広い箇所がある

ことが分かりましたので、街灯の数を増やすことを検討しています。また、街灯がひどく汚れている箇所については、清掃を行って少しでも明るくした いと考えています。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

市が設置している230台の「安全・安心カメラ」につきましては、引き続き適切な 運用を図り、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。また、 自治会等の地域団体に対する防犯カメラの設置補助についても、継続して実施を予定 しています。

都市安全部(防犯交通安全課)

進捗状況:

完了

進捗状況説明欄:

街路灯がひどく汚れている箇所について令和5年9月に清掃を行い、街路灯の間隔 が広い天満神社付近について令和5年10月に1箇所追加設置を行いました。

都市安全部(道路管理課)

都市計画課)、産業文化部(北部振興企画課) 担当部課:都市整備部(開発審査課、

角野 愛姫 テーマ 西谷の人を増やしたい

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は2つのことをお願いします。

1つ目は西谷のまちを元気あふれる場所にしたいです。

2つ目は西谷の人口を増やしたいです。

2 フ目は四谷の人口を増やしたいです。 その理由をこれから説明します。 西谷には問題点が2つあります。 1 点目は西谷に住みたくても、住めないことです。例えば、西谷にひっこしてきたく ても、家を建てられないルールになっているからです。今、西谷小学校の児童数は去年 は60人、今年は50人、来年は45人になる予定で、年々へってきています。 運動会な ど、園小中合同で、行っていますが、出来ることがどんどんへってきています。 2 点目は車がないと生活できないことです。西谷には、コンビニやスーパーといった しせつがありません。いな川や三田に西谷に住んでいる人は、買い物へとおくまで時間 をかけていっています。 コキり、西谷に入ってしてきても、生活が不便になります。

をかけていっています。つまり、西谷にひっこしてきても、生活が不便になります。 この2点をふまえて、私は2つのことを提案します。 1つ目、住めるようにして、ひっこしてこれるようにしてほしいことです。 2つ目、生活のしやすいように、コンビニ、スーパー、イオンなどを建ててほしいこ

とです。

西谷の人の思いを知ってもらえたらうれしいです。このことは、言っただけでなく、 -度、本気で考えてほしいです。

答弁:

西谷に家やコンビニなどの建物を建てられるようにしてほしい、につきましては、西谷地区は、自然環境に配慮のなされない開発が行われることを防止し、豊かな自然を残すために、長く西谷地区に住んでいる人の住宅の建て替えや、農業を営む人の住宅は建てることはできますが、新しい住宅や建物を建てることができない区域に指定されてい ます

ます。 角野議員のお願いのように、西谷地区の人口を増やしていくために、もっと建物を建てやすくできるよう、新しく建てる時に必要な手続きを簡単にすることと、地域の方が新しい住民を受け入れる宅地を計画する制度を作りました。また、コンビニエンスストアについては、民間の事業者が建てることができるようなルールもあります。次に、「西谷のまちを元気あふれる場所にしたい」、「西谷の人口を増やしたい」ということについては、私も同じ思いです。そこで、豊かな自然をはじめ、歴史や伝統などの魅力を広くPRして、多くの方に西谷地区を訪れてもらい、元気あふれるまちになるように、観光スポットや、ダリア、牡丹などの情報発信を行い、地域の方々と協力した、参加者が笑顔で楽しめるようなイベントを開催しています。また、地域の方によめた。参加者の主ブサイト「宝塚にしたにSMOCCA(スモッカ)」では、西谷に住みたいという人の相談や空き家情報の紹介をして、西谷のことを好きになった人が西谷に住めるようにするなど、これからも地域の皆さんと一緒に話し合い、共に考えていきま めるようにするなど、これからも地域の皆さんと一緒に話し合い、共に考えていきま す。

准捗状況:

完了

進捗状況説明欄:

コンビニエンスストアは、民間の事業者が建てることができる制度を作っています。現 在は、事業者に制度を知ってもらえるように取り組んでいます。

都市整備部(開発審査課)

進捗状況:

完了

准捗状況説明欄:

西谷地区の人口を増やしていくために、もっと建物を建てやすくできるよう、地域の方が新しい住民を受け入れる宅地を計画する制度(北部地域のまちづくりルール)を作っ ています。

現在は、この制度をより多くの人に知ってもらえるよう、取り組んでいます。

都市整備部(都市計画課)

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

上佐曽利地区で栽培されている市花「ダリア」の生花を活用した 今年度も、 宝塚・アピアさかせがわといった商業施設での装飾イベント、市立長谷牡丹園の開園、 西谷地区や近隣の市町を自転車で巡る「ひょうご北摂里山ライド2023」等を開催し、 西谷地区の豊かな自然や歴史の情報発信を行い、多くの方々に楽しんでいただきまし

また、地域住民の方々も様々なイベントを企画し、「ふるさとまつり」や「西谷収穫祭」、「源流 SDGs CONNECT 農業体験から考えるSDGsプロジェクト」を開催するなど、多くの人出で賑わいました。さらに、地域住民の方々と一緒になって、西谷地域に住んでみたい、関わってみたいという人を増やしていく企画、「空き家視察ツアー」や体耕地の栗園を再生する「西谷栗園再生プロジェクト」を進めています。

これからも、西谷のまちが「元気」になるよう地域の方々と協力しながら様々な取組 を進めていきます。

産業文化部(北部振興企画課)

担当部課:産業文化部(観光企画課)

議員名 堀 花楓 テーマ 湯のまち宝塚の復活

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私が提案するのは「宝塚の温泉街を復活させる」ということです。

なぜなら、宝塚の温泉がもっと有名になって、宝塚が東京のような人気のある街になって欲しいからです。

宝塚はもともと「湯のまち宝塚」と言われるくらい温泉街がにぎわっていて、そこに来た人たちの遊び場所として作られたのが「宝塚歌劇」と言われています。それほど昔は宝塚といえば「温泉」と言われるほど有名でした。しかし、阪神大震災などの影響でにぎわっていた温泉街が縮小し、今では数件の温泉施設があるだけで、温泉街がにぎわっていたということを知らない人が増えていると思います。西山小学校で、「にぎわっていた温泉街を知っているか」というアンケートをとった結果、685人中、319人が知りませんでした。

そこで私は、温泉旅館をたくさん作れば、にぎわった温泉街が復活すると考えました。でも、それは難しいことだと思うので、まずは全国から宝塚歌劇を見に来た人に、次回宝塚に来るときは、宝塚温泉に泊まってもらえるような宝塚温泉のPRが書かれているパンフレットなどを配ることで、宝塚温泉に宿泊する人が増え、温泉旅館を作る会社が、宝塚に作ろうと検討するかもしれません。それがきっかけで、にぎわった温泉街が復活し、たくさんの人が宝塚に来て東京のような街になれば嬉しいと私は思います。

答弁:

宝塚の温泉街を復活させるにつきましては、宝塚温泉が最も賑わった1960年代には60軒を超える温泉旅館が立ち並び、大阪万博が開催された1970年には年間約133万人が宿泊したものの、現在は宝塚温泉を楽しめる施設は3軒のみとなっています。 有馬温泉と同じ泉質の金宝泉と銀宝泉が湧く宝塚温泉は、本市にとって多くの温泉

客を癒し続ける貴重な観光資源です。

また、明治時代に宝塚温泉の泉源のすぐ近くで湧き出ている炭酸泉が英国人ジョン・クリフォード・ウィルキンソンによって発見され、瓶詰めをして炭酸飲料「ウィルキンソン タンサン」として売り出されました。当時は瓶詰工場や洋式高級ホテル「タンサンホテル」があり、多くの外国人が本市を訪れたという素敵なエピソードがあります。しかし、温泉については、各施設において若い世代の温泉離れが心配されています。今回、堀議員が温泉に注目してくださったことを、私もうれしく感じています。

宝塚温泉は、今年で開湯800年を迎えました。春には武庫川河川敷で温泉やタンサンの歴史を知るイベントが開催され、秋には温泉をお題とした川柳コンテスト、ナチュールスパ宝塚での音楽ライブが予定されています。また、細川貂々(ほそかわてんてん)さんによるデザインのかえるをモチーフにした宝塚温泉のキャラクターを用いて温泉記念グッズを作成する予定で、温泉施設や地域の方たちと一緒に宝塚温泉のPRを行い、盛り上げているところです。

行い、盛り上げているところです。 さらに、提案してくださっているように、宝塚歌劇を観劇しに来られた方々がもっと宝塚温泉にも泊まっていただくためにパンフレットやSNS、動画などを通して市内外に発信を続けていきます。

加えて、2025年大阪・関西万博では、兵庫県が実施している「ひょうごフィールドパビリオン」においても、「タンサンと湯のまちのルーツさがし」がプログラムに認定され、今後、宝塚温泉に関心を持った観光客が多く訪れることが期待できます。これからも宝塚温泉が多くの観光客でにぎわい、魅力的なお店も増えてまちが活性化していくために、ご提案も参考にしながら取り組んでいきます。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

宝塚温泉の歴史や魅力を発信するため、ナチュールスパ宝塚での「宝塚温泉開湯800年記念音楽ライブ」や「空飛ぶ・宝塚ランタン2023」、「宝塚温泉開湯800年祝川柳コンテスト」など、宝塚温泉関連のイベントを関係団体と連携して、多数実施しました。また、市国際観光協会と連携し、細川貂々(ほそかわてんてん)さんが描き下ろしたキャラクター「湯塚かえる」と「藤原光経」をプリントした「巾着バッグ(赤・ネイビーの2色)」と「手ぬぐい」を制作しました。これらのイベントやその他のイベント時にノベルティを配布することにより、さらなる宝塚温泉の情報発信に努めました。今後も、より多くの方々に宝塚温泉のことを知っていただき、実際に訪れてもらえるような取組を続けていきます。

産業文化部 (観光企画課)

担当部課:都市安全部(公園河川課)

テーマ 少子化の今を考えて 議員名 渡邊 新良太

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

わたしは、逆瀬台小学校区の豊かな山やきれいな川を利用したキャンプやアスレ チック、サバイバルゲーム、ドッグランなどの施設の建設を提案したいです。近年、 全国的に見ても少子化の波が訪れているのは、周知の事実だと思います。逆瀬台小学 校の児童数は毎年平均10人程度減少しています。実際に、逆瀬台小学校の児童数の減 校の児童数は毎年平月10人程度減少しています。 美際に、逆瀬台小学校の児童数の減少により、1クラスのみの学年も増えています。 これにより、クラス替えができず、 友だち関係の固定化も心配されています。また、教員数も少なくなり、クラブ活動の数も制限せざるを得なくなっています。わたしは、逆瀬台小学校区に児童を少しでも増やし、活気のある校区にしていきたいと思い、このような提案をしました。 宝塚市にその地域の良さを生かしたテーマパークが建つことによって、子どもをもつ世帯は とてもありがたいし、子ども自身も気軽に外で遊べる場所があるということは喜ばれると思います。実際に建設費用についても市にすべて任せるのではなく、寄付を募っ ていくなどできる限り自分たちで考えていきたいと思っています。

答弁:

本市では、今後の人口減少にどのように取り組んでいくのかを定めた計画「夢・未 来 たからづか創生総合戦略」の中で、子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくりを目指しています。そのためには、子どもがたくさんの遊びや学びを経 験し、心豊かにいきいきと育つ環境を作っていく必要があると考えており、地域の良 さを生かしたテーマパークや、子どもが外で遊べる場所をつくることは非常に興味深 いご提案だと思います。

ただ、実際に山の中などにテーマパークをつくるには、いくつかの課題がありま す

1つ目は、市の施設をこれ以上増やすのは難しいということです。少子高齢化による 人口減少が更に進むと、子どもの数が減り、その子どもたちが大人になる頃には、働く世代の人たちが大幅に減ることになります。そうすると、市の収入となる税金が減っていきます。その一方で、高齢化が進むと、医療、介護などの社会保障に必要なお金が増えることになります。そのため、限られたお金の中でも将来に亘って安全に 施設を維持できるよう本市では新しい施設を増やさずに、今ある施設をまとめたり減らしたりしていく計画を作り、取り組んでいるところです。

2つ目は、実現に向けての課題です。市や民間でテーマパークを整備するにあたって

2つ目は、実現に向けての課題です。中や民間でテーマバークを整備するにめについます。 は、どこに整備するのか、環境や騒音などの観点から問題はないか、さらに集客がどれだけ見込めるのかなどを検討することも必要です。 これらを考えると、すぐにテーマパークの整備を実現するのは難しいですが、本市では今後、公園を交流の場、にぎわいの場として更に活用するため、どのような公園にしていきたいかを地域の方と話し合って決めていく、「宝塚市パークマネジメント計画」を作る予定です。その中で、アスレチックのような遊具を置いてほしいという意見が多ければ、設置に向けて検討していきます。ぜひか学生や中学生の皆な場合で、魅力なる公園でくれて向け、意見を表出て を反映していきたいと考えていますので、魅力ある公園づくりに向け、意見を寄せて もらえるとうれしいです。

渡邊議員のご提案も参考にしながら、引き続き、市の魅力を高める取組や、子ども がいきいきと育つ環境づくりを進め、人口の減少や、少子化を抑えることができるよ う努力していきます。

進捗状況:

進捗状況説明欄:

答弁のとおり、令和5年度から3ヵ年かけて「宝塚市パークマネジメント計画」を 作ります。令和6年2月28日に本計画をつくるための第1回目の会議を開催しまし

都市安全部(公園河川課)

担当部課:都市安全部(防犯交通安全課、道路政策課)

テーマ 子どもや高れい者にやさしい道路 福富 柚奈

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は、子どもや高れい者が安心して歩ける歩道があればいいなと思います。理由 は、自分が歩いているときや自転車に乗っている時にこわいと感じることがあったからです。自転車で速いスピードで走ったり前から来る自転車とすれちがうときにその 自転車が右側によけたので、左側を走っていた私とぶつかりそうになったことがあります。私も急いでいる時にスピードを出したことがあるので、周りの人にめいわくを かけてしまったのかな、と思ったことがあります。こわい思いをさせないように気を つけようと思っています。

安心して歩けるようにするには、自転車専用道路があればいいと思います。今は自 転車専用道路が少ないから、通学路やいろいろな所にもっと増えるといいと思いま す。実際に私の通う学校の前には自転車専用道路がありません。自転車のルールを知 らない人もいると思うので、学校で交通安全教室があればいいと思います。ようち園 の時には交通安全教室がありましたが、改めてもう一度小学校でもあると交通ルール を覚えることができると思います。交通安全教室を受けることができなくても、ポスターならはれると思います。いろいろな人が見やすいところにはることによって、大 人も子どもも、交通ルールに関心をもってもらえるといいなと思います

これからも子どもや高れい者が安心して使える歩道について、日ごろから考えてい きたいと思います。

答弁:

安心して歩道を歩けるようにするために、自転車が通る場所を作ったほうが良いと のご提案につきましては、本市も同じ考えを持っています。そこで、本市では、市内 の自転車の利用が多い路線などを対象に、車道の左端を青色に塗る「自転車レーン」 の整備を進めています。

また、「自転車レーン」よりも、自転車が専用で使うことができる「自転車道」の ほうがもっと安全になるという考えは、理解できます。ただ、本市では自転車道を整 備するだけの幅に余裕のある道路がないため、今後も引き続き自転車レーンの整備を 進めていく予定です。

次に、自転車の交通ルールの啓発につきましては、本市では、幼稚園や小学校での 交通安全教室、自転車教室を実施しています。交通安全教室は小学校1、2年生を中心 に、自転車教室は小学校3、4年生を中心に、各学校園からの依頼に基づいて実施して おり、各学校の地域児童育成会でも同様に、交通安全教室を実施しています。 また、市内の各地域でも、自治会など地域団体からの依頼に応じて、子どもや大人

を対象とした教室や講習会を実施しています。

その他、これらの教室に加え、交通安全運動期間に宝塚駅前の広場で実施しているキャンペーンなどの啓発活動、本市ホームページでの啓発記事掲載などを通じて、交通ルール、自転車のルールやマナーの理解が進むよう取り組んでいます。 自転車のルールやマナーの啓発ポスターについては、市役所の駐輪場や市内各駅の

市立自転車等駐車場などに掲示し、利用者の皆さんの目に留(と)まるようにしていま す。福富議員からご提案のありました学校園での掲示についても、各学校園と相談 し、進めていきたいと考えています。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

自転車の交通ルールの啓発について、市では宝塚警察署と協力して幼稚園や小学 校、市内各地域での交通安全教室や自転車教室のほか、宝塚駅前などでの街頭キャンペーンを実施しています。啓発ポスターの掲示については、学校園と相談のうえ、児童や生徒の皆さんに届くような内容を検討しているところです。

都市安全部(防犯交通安全課)

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

自転車レーンの整備について、市道安倉線や市道逆瀬川米谷線などは、概ね令和6年 から令和7年にかけて完了を予定しています。その他の道路については、現在関係機関との協議・調整を実施しているところです。

都市安全部 (道路政策課)

担当部課:健康福祉部(介護保険課)、教育委員会(学校教育課)

テーマ 住み続けられるまちづくりを 小宮路 実子

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は宝塚市をより良い街にしたいです。SDGsの十七のゴールの一つに「住み続け

危険が少なく、人と人との繋がりがある街を目指すことでだれもが住 み続けたいと思える、より良い街に宝塚はなっていくでしょう。

答弁:

各弁:
 住み続けられるまちづくりをのうち、老人ホームやデイサービス等と交番をつなぎ安全性を高めることにつきましては、最近、ニュースなどで施設の入所者を狙った犯罪などが報道されています。本市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療や介護、住まいなどを地域で切れ目なく一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に取り組むこととしており、その推進のための計画の基本理念を「健康で、安心して自分らしくいきいきと暮らし続けられるまち宝塚」としています。高齢者が安心して地域で暮らすためには、お住まいや入居する施設が安全であることが不可欠です。このことが、SDGs(エス・ディー・ジーズ)のゴールの1つである「住み続けられるまちづくりを」にもつながるものと考えています。老人ホームやデイサービスなどの高齢者施設は民間事業者が設置する施設となりますので、小宮路議員のご提案の高齢者施設と交番との複合施設については兵庫県と民間事業者との協議が必要となります。

間事業者との協議が必要となります。

高齢者施設においては引き続き、施設の整備や点検、職員研修などを行うほか、 係機関や地域にお住まいの皆さんとの協力、連携体制を構築することで、日ごろから の防犯意識の強化、安全の確保に取り組んでいただくことが重要と考えており、本市 として周知啓発に努めていきます。

まず、小学校、老人ホームやデイサービス等と交番をつなぎ安全性を高めることに つきましては、小学校の中に交番を併設することは交番の設置条件にあてはまらない つさましては、小学校の中に父命を併設9 ることは父命の国連末叶にめてはよっないため困難ですが、現在小学校では、一斉的犯活動、不審者対応訓練、保護者や地域の方や青少年センターによる登下校時の見守りに取り組み、警察などの関係機関と連携しています。また、防犯カメラの活用や校門の施錠管理によって安全な学校の環境づくりを行っています。そして児童が、登下校時や外出時には防犯ブザーを携帯したり、家族と1日の予定や計画を共有したりするなど、一人ひとりの防犯意識を高めると記述を受けます。これます。

り、家族と「日の予定や計画を共有したりするなど、一人ひとりの別記息はで同のる指導を各学校で行っています。 次に、老人ホームの人々と小学校が給食中や総合等の授業の時間にコミュニケーションをとることにつきましては、現在は日常的な交流ということはできていませんが、人生の先輩の知識や経験から学ぶために、昔遊びの授業や校内のクラブ活動、たからづか寺子屋事業などにおいて地域の方に協力していただいています。また、平和学習の一環で被爆者の方を学校に招いてご講話いただくなど、様々な活動でコミュニケーションの場を設定しているほか、中学2年生の時に地域での様々な体験活動を行ち、ラトライやス・ウィークでも、老人ホームで活動する場合があります。今後も子ども うトライやる・ウィークでも、老人ホームで活動する場合があります。 今後も子ども たちとお年寄りの方々と多く触れ合える機会を考えていきます。

今回のご提案にあるように、心が重くなった時や何気ない話を誰かに聞いてもらえ るような機会も大切です

今後、ご提案も参考にしながら、各学校や老人ホーム、警察とも協議し、取り組ん でいきます。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

老人ホームやデイサービスなどの高齢者施設は民間事業者が設置する施設となりま ので、高齢者施設と交番とを複合施設にすることについては兵庫県と民間事業者と の協議が必要となります。

の協議が必要となります。 高齢者が安心して地域で暮らすためには、高齢者施設が関係機関や地域にお住まい の皆さんとの協力、連携体制を構築することで、日ごろからの防犯意識の強化、安全 の確保に取り組んでいただくことが重要であり、本市では引き続き、施設の整備や点 検、職員研修などの実施について、施設に働きかけていきます。

健康福祉部(介護保障課)

進捗状況:

完了

進捗状況説明欄:

新小学校1年生に防犯ブザーを貸与し、一人ひとりの防犯意識を高める指導を各学校で行いました。また、令和5年度に校内クラブ活動、寺子屋やトライやる・ウィーク等の事業を実施し、地域の方とコミュニケーションを図りました。

教育委員会 (学校教育課)

テーマ 大階段にベンチの設置、信号なしの横断歩道に信号の設置、トイレのリフォーム 議員名 西 来未

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

今回子ども議会で提案してほしいことを、6年生全員から募集しました。その中から 三つ提案させていただきます。まず一つ目は「大階段にベンチの設置」という提案で ニフ症来ではていたときす。ます一つはは「人階段にヘンテの設値」という提案です。理由としましては大階段は地獄の階段と呼ばれるほど段数が多いのですが一番上に着くまでに休けい場が一つもなく、一年生などがとてもつらそうだからです。二つ目は「信号のない横断歩道に信号の設置」という提案です。理由としましてはとあるニュースで信号なしの横断歩道で歩行者がいても一時停止をしない車は9割というデータが発 つ目は 表されることがありました。9割も止まらないということは事故が起きる可能性が高 く、とても危険だからです。三つ目は「トイレのリフォーム」という提案です。理由としましてはすみれガル学校ができてからトイレが一度もリフォームされておらず悪臭が漂っていたり、二、三回なっといといけないトイレがあるという現状を変えたいと思ったができます。 たからです。少しでも多くの人が楽に学校に通えるようにご検討願います。

答弁:

大階段へのベンチの設置につきましては、階段の途中にベンチがあることで休憩ができるようになる一方で、躓(つまづ)いて転倒や転落すると大変危険であるため、安全対 策なども含めて学校や地域の方と相談させていただいた上で、設置を検討したいと考え ています。

次に、信号のない横断歩道への信号の設置につきましては、信号機は、警察庁が定める設置基準に基づき、県の公安委員会が設置を検討するものであり、設置を要望する場 合は、周辺住民の皆さんの意見として自治会など地域団体から宝塚警察署にご相談いた だくことになります。

だくことになりなり。 横断歩道の手前で一時停止しない車両については、交通違反車両の取締りは宝塚警察 署の所管ですが、本市としても、地域団体から同じような実態をお聞かせいただいた場 合は、宝塚警察署に情報提供するとともに、地域の皆さんと相談の上、横断歩道の手前 に「この先横断歩道あり」「横断者に注意」などの通過車両に向けた注意喚起の看板を

設置している場所もあります。 通行に危険を感じる場所がありましたら、保護者の方か、通学路であれば学校にお伝えいただき、宝塚警察署または本市道路管理課にご相談ください。 一番大切なことは、西議員や皆さんが交通事故に遭わないことです。横断歩道を渡る

ときには、決して飛び出さず、左右を確認して通過する車両に十分注意し、安全な通行 を心がけてください。

すみれガ丘小学校のトイレのリフォームにつきましては、すみれガ丘小学校は、築後33年が経過し、建物の老朽化が進んでいることもあり、今年度から3年をかけて校舎と体育館の改修工事を実施し、その後、引き続いてトイレ改修工事に着手していく予定です。

トイレ改修工事では、これまでの水洗い式のトイレから、匂いがつきにくい拭き取り 式のトイレにリフォームします。リフォームするまでの間、壊れたところは、日頃の点検で見つけて、その都度修理していきます。西議員がご指摘の、トイレの流れが悪いところなど不良箇所については、現場を調査し速やかに修理します。その他に鍵の不良な 、壊れたところを見つけた場合は、ます、先生に伝えてください。 学校から連絡をもらったら、現場を確認して、気持ちよく学校生活が送れるように、

学校環境を整えていきます。

准捗状況·

継続

進捗状況説明欄:

大階段へのベンチについて、今年度中(令和6年3月31日まで)に設置を予定して います。

都市安全部(道路管理課)

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

信号の設置や交通違反車両の取締要望については、市からも警察にお伝えしています が、地域で意見を取りまとめて宝塚警察署にご相談いただくことがのよう。市では、 引き続き運転者と歩行者両方に対して交通安全意識を高めていただく啓発活動に取り組 んでいますが、特に横断歩道を渡るときには右、左、もう一度右を確認のうえ安全な通行を心掛けてください。

都市安全部 (防犯交诵安全課)

准捗状況:

継続

准捗状況説明欄:

すみれガ丘小学校のトイレのリフォームにつきましては、令和7年度からの実施に向けて、令和6年度中に設計委託を行う予定です。 令和6年度には当初の計画どおり校舎と体育館の改修工事を実施する予定です。

教育委員会 (施設課)

担当部課:企画経営部(広報課)

議員名 | 森脇 高嶺 | テーマ | 宝塚市アプリの開発について

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は、宝塚市のアプリを開発することを提案します。

宝塚市の公式ウェブサイトを拝見し、子どもやスマートフォンに慣れ親しんでいる 人にはアプリの方が見易く使い易いと思ったからです。

アプリとウェブサイトでは、使う人の目的により、対象となる人が異なります。アプリはリピーター、ウェブサイトは市外の方や新規ユーザーに向いているといえます。言い換えると、市外の方に宝塚市をアピールするツールとしてはウェブサイトが有効といえます。一方、宝塚市民に向けて、市の取り組みや気象情報を伝えるにはアブリの方が向いているといえます。具体的には、例えば末広体育館の予約状況を見るとき、現在のウェブサイトだけの体制では、検索エンジンを起動し、検索をかけ、ウェブサイト内でその情報を探さなければならないので時間と手間がかかります。それに比べ、アプリを導入すると、アプリを開き、アプリ内で探すだけとなり、検索エンジン内で検索する分の時間と手間が省けます。アプリの導入で、市民は市の必要な情報に手早くアクセスできるようになります。それによって、市民は市の施設や、行政とのものに関心を持ち、よりよい市をつくる助けにもなるのではないかと考えます。

以上の理由から、20万人以上もの市民のために、アプリを開発することを提案します。

答弁:

本市のアプリを開発することにつきましては、他市では地域の特色や住民のニーズに応じて、イベントや観光、防災などの情報をお知らせする公式アプリを導入している事例があり、素早く情報を伝える手段として活用されています。本市では、災害時に防災スピーカーから放送される内容をスマートフォンから聞くことができる「CosmoCast(コスモキャスト)」や、ごみの収集日や分別方法を知ることができる「さんあ~る」というアプリを活用しています。また、新たなアプリの開発ではありませんが、現在、約1万3千人の登録者がいる宝また、新たなアプリの開発ではありませんが、現在、約1万3千人の登録者がいる宝

また、新たなアプリの開発ではありませんが、現在、約1万3千人の登録者がいる宝塚市公式LINEの機能拡充を行う予定で、11月のサービス開始に向けて準備を進めています。これにより、例えば、観光や防犯、子育てなど、市民の皆様が知りたい分野を選んでその情報だけを受け取ることができるようになり、ウェブサイトを検索しなくても最新の情報にアクセスしやすくなります。

さらに、ウェブサイトへのリンク先の表示を現在の6つから大きく増やすことで、アプリのように、ごみの出し方や公共施設の予約状況など様々な情報を素早く確認することができるようになります。

現在、本市の取組やまちへの、市民の皆様の関心を高められるような広報活動をめ ざして、広報戦略の策定を進めているところです。今回、森脇議員にご提案いただい た新たなアプリ開発を含め、より効果的な情報発信について研究していきます。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

昨年11月に、宝塚市公式LINEの機能拡充を行いました(令和6年2月現在登録者数約1万7千人)。これにより、観光や防犯、子育てなど、市民の皆様が知りたい分野を選んでその情報だけを受け取ることができるようになり、ウェブサイトを検索しなくても最新の情報にアクセスしやすくなりました。さらに、ウェブサイトへのリンク先の表示を1タブ・6つから、「基本メニュー」「防災・消防」「イベント・広報」の3つのタブへ大きく増やし、ライフイベントごとの手続き方法や公共施設の予約状況、ハザードマップや気象情報、イベントやプレゼント企画など様々な情報を素早く確認することができるようになりました。また、気象警報の発表時には、災害モードに切り替わり、避難所の開設情報やライフライン、通行止めの情報などを確認できます。

引き続き情報発信について研究し、効果的な取組を展開していきます。

企画経営部 (広報課)

担当部課:環境部(業務課)

議員名 立脇 圭人 テーマ ゴミ捨て場のカラスによる被害と防止について

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

僕は、ゴミ捨て場の周りにカラスが何匹もいる所をたくさん見てきました。そのカラスは、ゴミを散乱させたり、道の邪魔をしていました。そこで僕は、ゴミ捨て場のカラスによる被害と防止について提案します。カラスによる被害は、道にゴミが散乱し、道を通る人が通りにくくなっているという事態が挙げられます。そしてその散乱したゴミを掃除するのは地域の人達です。せっかくゴミ捨て場にゴミをまとめて捨ているのに、また掃除をするというのは、二度手間になっていると思います。そこで、僕が思う解決方法は全てのゴミ捨て場にカラスよけのネットを配置することです。そうすることによって、くちばしが届かなくなり、ゴミの散乱は減ると思います。カラスは頭が良いので、かぶせたネットに重石や水を入れたペットボトルを置き、めくられない、隙間をつくらないようにする対策も必要だと考えました。このように、地域の人達が安心して暮らせるように今一度対策を考えてほしいです。宝塚市は道に落ちているゴミも少なくとても良い町だと思います。なので、これからもキレイな町でありたいと考え、このような提案をしました。これで僕からの提案を終わります。ありがとうございました。

答弁:

ゴミ捨て場のカラスによる被害と防止につきましては、カラスはとても賢く、餌となる燃やすごみの日になると、ごみに防鳥(ぼうちょう)ネットが被せられていないなど、カラスが狙いやすいごみステーションでごみをあさり、道路上にごみを散乱させてしまいます。

道路上などに散乱したごみは、ごみステーションの利用者の方に清掃をお願いしていますが、ごみが道路にこびりつく、隣の家の敷地内にまで飛び散るなど、掃除の大変さについて多くの方からご相談をいただいています。また、交通量の多い道路上の清掃などは危険も伴います。

本市が行っているごみステーションのカラス被害対策ですが、カラス対策の基本は、カラスの餌となる燃やすごみを長時間ごみステーションに放置しないことと、防鳥(ぼうちょう)ネットで隙間なくごみを包み、カラスがごみをあさる隙間を作らないことです。

そこで本市では、燃やすごみを優先して午前中に収集することで、カラス被害の軽減に努めています。また、市民の皆様には、夜間にカラスにごみが荒らされないよう、前夜のうちからごみを出さず、当日の朝8時までに出すようお願いしています。

さらに、道路上のごみステーションをご利用の方には、カラスが嫌がる辛み成分入りの防鳥(ぼうちょう)ネットの貸し出しを行っています。立脇議員がお考えのように、防鳥(ぼうちょう)ネットはごみを出す皆さんが、ネットでごみ袋全体を包み込むように使っていただかなければ効果がありません。本市のホームページでは、写真などを使って、正しい使い方をわかりやすくお知らせしています。また、ごみステーションの利用者の方からご相談があれば、「カラスに荒らされないようごみ袋をネットできちんと包んでください」といった内容の看板を設置するなどしています。

どうしても、ごみが多く防島(ぼうちょう)ネットで包めない場合などは、ネットを多くお貸しすることや、ごみステーションを分けるなどして、効果的に使っていただけるようにしています。

また、本市では、折り畳んで片付けることのできる「ごみボックス」について、ごみ収集後は折り畳んで片付けることを条件に、本年4月より購入費の一部を補助する制度を始めています。

これらの取組により、カラス被害の軽減、街の美化に効果があると考えています。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

答弁のとおり、防鳥ネットの使用方法やごみの減量化・資源化などの啓発については、継続的に実施しております。

また、折り畳みネットボックスの購入費補助金についても、継続する予定です。

環境部(業務課)

担当部課:都市安全部(公園河川課)

テーマ 議員名 公園に柵をつけることで防げる事故やトラブル 村上 德真

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は、昨年の子ども議会の提案からボール遊びを禁止している公園があると知りま した。そこで私は、公園に柵をつけることが大切だと考えました。どうしてこのように考えたのか、2つ理由を説明します。1つ目の理由は、ボールが外に出る危険があるからです。私の家の近くには山手公園という公園があり、そこは道路が公園の近くに あったり民家があったりし、近所のこども達がよく使う公園です。このような公園でボール遊びをし、ボールが公園の外に出てしまうと急にきた車、自転車の運転手の人がケガをする、最悪の場合ボールをとりにきた子どももケガをしてしまいます。以上 が1つ目の理由です。2つ目の理由は、近所の家に物が入ってしまうのを防げるからで す。もし公園の近くの家にボールが入ってしまうと窓ガラスや、花壇の花を傷つけて しまう可能性があります。そうすると相手も家のものが壊され嫌な気持ちになるし、 自分も壊してしまった思いで嫌な気持ちになりその後、楽しく遊べなくなってしまいます。以上が2つ目の理由です。このようなことがおこらないようになってほしいと思 い柵について提案しました。その地域の問題もあると思いますが、ボール遊びを安全 に楽しくしたい子どももたくさんいると思います。他にも案はあると思いますが宝塚 市がこれまで以上に活気のある子どもがたくさんいる市にしたいと思い、提案しまし

市内の公園においては、ボール遊びについて原則禁止としていませんが、周辺の住 宅や道路への飛び出しなどの危険があったり、他の公園利用者に迷惑となったりする ようなボール遊びはしないようにお願いしています

は対していないようにの願いしています。
村上議員にとって身近な公園である雲雀丘山手公園では公園の前の道が坂道になっており、ボールが飛び出すと大変危険です。本市としましても、市内の同じような公園には、まずはボールなどが飛び出さないようにする簡易的なネットや、注意を促す看板を設置することなどで対策を講じているところです。
次に、公園に柵をつけることについてですが、今年度は平井公園において、南側の線路や民家へのボールの飛び出し防止を目的に、高さ4メートルの柵を設置する予定です。
まる程に完成予定ですので、見ま、遊びに行ってみてください。

す。冬頃に完成予定ですので、是非、遊びに行ってみてください。 市内の他の公園に新しく高い柵をつけることについては、大掛かりな工事と多くの 費用が必要となります。また、高い柵を設置することで、思いっきりボールなどを投 げたり蹴ったりして、周りに危険や迷惑となることもありますので、公園の利用につ いて地域の方ともよく話し合う必要があります。安心してボール遊びがしたいという子どもたちの声を地域の方へお伝えし、設置について関係者の方々と一緒に検討して いきます。

進捗状況:

完了

進捗状況説明欄:

平井公園への防球ネットを令和6年1月に設置完了しました。他の公園で防球ネッ トの設置要望が提出された場合は、地域の方々と調整を図りながら設置に向けての検 討をしていきます。

都市安全部(公園河川課)

担当部課:教育委員会(教育企画課、施設課、学事課)

議員名 上田 遥斗 テーマ 「ウォータークーラー」の設置

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

僕達の中学校では、今まで生徒総会などで、「ウォータークーラー」を設置してほしいという意見がたくさん出ていました。ですがそのほとんどが費用や衛生面などで意見が見おくられてきました。しかし、近隣の市では設置されている市が多いです。 最近では暑くなってきているので、熱中症予防にもなる可能性も考えられます。 さらに、多めに水をもってきているのが、なくなってしまい直結給水を使う人がたくさんいますが、衛生面的な事を考えるのなら、それこそ「ウォータークーラー」の方が良いと思います。

次に、私たちの学校では直結給水が三年生のげた箱付近にあるのですが、体育館やー・二年生の場所からとても遠くて、行くのも大変です。「ウォータークーラー」を体育館の近くに置いたりしたら、もっと学校が良くなると思います。それ以外でも、バスケ部や卓球部は体育館などの室内でのスポーツです。室内こそ、熱中症の危険性が上がると思います。「ウォータークーラー」をつければ生徒への安全性が上がると思います。これらのことから、宝塚市内の中学校にもウォータークーラーの設置を検討して頂きたいです。

答弁:

ウォータークーラーの設置につきましては、これまでも子ども議会をはじめ、多くの要望をもらっていますが、過去に感染症の問題が発生したため、ウォータークーラーを取り外し、各学校にウォータークーラーの代わりに、「直結水道」を設置した経緯があります。

この直結水道の蛇口の水には浄水場で水質管理された水が直接送られていて、持ってきた水筒の水やお茶が足りなくなった時には、安心して飲んでもらうことができます

近年では、ウォータークーラーの性能が上がり、機器のタンク内の水が自動で入れ替わるなど、水の清潔を保てるようなものが出てきています。ただし、性能が上がったとしても、日々、安全に使用できるよう日常的な維持管理や設置に関する費用が必要です。

こうした費用面や衛生管理面などクリアしなければいけない課題がありますが、 ウォータークーラーを設置して「冷たくておいしい水が飲みたい」という皆さんの想 いは、上田議員のご質問を通して十分伝わりましたので、今後設置について検討して いきます。

熱中症予防には水分補給が大切ですので、日常の衛生管理に気をつけながら、家から持ってきた水筒のお茶や水と、設置した水飲み場の水も飲んで、しっかり水分補給を心がけてください。

進捗状況:

調整中

進捗状況説明欄:

ウォータークーラーについて、学校に設置可能かどうか検討を行っていましたが、 熱中症対策としてまず学校の体育館への空調機器設置を目指していくなど、緊急性の 高い案件が他にもあるため、それらも含めて優先順位をつけながら対応しているとこ ろです。ウォータークーラーの設置については、体育館への空調機器設置後の状況も 踏まえて引き続き実施について検討していきます。

教育委員会(教育企画課・施設課・学事課)

担当部課:都市安全部(防犯交通安全課)

テーマ 議員名 ヘルメットの着用推奨のためにできること 澤田 一陽

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は「ヘルメットの着用推奨のための取り組み」について提案します。最近、自転 車が絡んだ交通事故が増えているように感じます。このままではみんなが安心して暮らせる街とはかけ離れ、救える命も救えないという事態に陥るなど、放ってはいけな い問題だと思いました。内閣府からは「自転車安全利用五則」が発表されています。 「通行は車道が原則、歩道は歩行者優先」やヘルメットの着用に関する内容などが記載されています。実際にこれらを守れているでしょうか。振り返ってみると、これを完璧に守れている人は少ないと感じます。そんな中、私はヘルメット着用の努力義務について考えました。街中の様子を見ると、全世代にヘルメット着用が浸透している とは思えません。なぜヘルメットの着用が少ないのか、自分なりに考えてみると「テ ザインがダサい」「被るのがめんどくさい」「わざわざ購入するのがもったいない」などの理由が挙げられました。これらを解消して着用を推奨するために「ヘルメット 無償配布」を提案します。市から市民向けにヘルメットを無償で配布するというもの で、市民全員がヘルメットを所持することになり、ヘルメットを着用する人が増えると思います。また、デザインについては市民から公募したり、市民がデザイン案を投票したりすることで、街や利用者になじむデザインになると思います。このような対 策を取ることで、ヘルメット着用の文化が定着するのではないでしょうか。

答弁:

自転車ヘルメット着用の推奨につきましては、人身交通事故のうち自転車が関係する事故の占める割合が近年増加傾向にあることから、本市では、交通安全計画におい て自転車事故の減少を目標として掲げ、学校園や地域での自転車教室、市内各所での 啓発活動、市立自転車等駐車場でのポスター掲示など、自転車のルールやマナーの啓 発に取り組んでいます。

中でも、自転車ヘルメットの着用については、本年4月、改正道路交通法の施行により、着用が努力義務化されましたが、この改正に先立ち、本市では2018年10月から 自転車の安全利用に関する条例にヘルメット着用の努力義務を規定し、啓発を進めて きました

その取組のひとつとして、ヘルメット市民モニターとして約100名の市民にヘル メットを貸与し、着用を体験いただいた上でアンケートを実施しましたが、「着用が 面倒」、 「必要を感じない」など否定的な意見があり、着用する習慣の定着はあまり 見られませんでした

この結果から、一律にヘルメットを配布するよりも、ヘルメットの効果や安全性を 理解いただき、着用するべきであるとの意識を高めるための啓発を強化、継続してい く必要があると考え、昨年度には、県立宝塚東高等学校の協力を得て、啓発用のイラ ストデザインを同校の生徒に作成していただき、交通安全キャラバンカーにイラストを貼り付け、また同じイラストを使用したチラシの配布や、ポスターやのぼりの掲示により、関心を高めてもらう取組を実施しています。 また、本年の夏の交通事故防止運動に合わせて、7月18日には県立宝塚東高等学校、翌19日には県立宝塚西高等学校の校門付近で、各校の生徒代表の方々と一緒に、

登校する生徒に自転車の安全利用をはじめ交通安全を呼び掛ける啓発活動を実施した ところです。

澤田議員のご提案も参考にしながら、今後もヘルメットが自身の命を守るために有 効であるとの認識が広まり、定着するよう啓発活動に努めていきます。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

市では、交通安全教室や自転車教室、街頭キャンペーンなど様々な機会を通じて自 転車ヘルメット着用の啓発活動を実施しています。そのなかでも、兵庫県が実施する 自転車ヘルメット購入応援事業において、市では高齢者や子育て世代、学生の対象者 に制度利用の広報や申請入力補助などの支援活動を行い、自転車ヘルメット着用意識 を高めるよう努めました。

都市安全部(防犯交通安全課)

担当部課:都市安全部(防犯交通安全課)

議員名 | 北川 彩葉 | テーマ | 市内におけるながらスマホ防止について

質問・提案内容(あらまし)と答弁後の対応

質問(提案):

私は市内におけるながらスマホ防止についての提案をします。ながらスマホと聞いて少しぎくっと来た方もいるかもしれません。ながらスマホとは、歩きながら、自転車や自動車などを運転しながらスマートフォンを操作することです。この行為は周辺への注意力が散漫になり、様々な事件・事故につながる恐れもあります。私もつい先日、実際に自転車を運転しながらスマホを操作している人と接触しかけました。その際に、ながらスマホに関する対策を調べ宝塚市にもそのような対策が必要ではないかと考え、今回提案することにしました。

では、ながらスマホを防止するにはどのような対策をとれば良いでしょうか。私が 提案するのは「条例をつくる」というものです。現在、ながらスマホに関する条例は3 つの市区町村が制定しており、その一つは我が宝塚市とも程近い池田市で制定されて います。池田市の条例はながらスマホを定義した上で禁止事項を規定しており、画面 の注視だけでなく、通話も禁止しています。池田市の他にも東京都の足立区と荒川区 でも制定されているこのながらスマホに関する条例を参考にしつつ、宝塚市にもなが らスマホに関する条例を制定してほしいと思います。警察庁によると運転中スマホを 使用していた際の死亡事故の割合は使用していなかった時の約2.4倍にものぼります。 このような事件・事故をなくす為にもご検討のほどよろしくお願い致します。

答弁:

ながらスマホの防止につきましては、スマートフォンを操作しながらの自転車や自動車の運転については、道路交通法で禁止されています。運転手はその法令に従う義務があり、違反した場合は罰金などの罰則があります。_____

一方、スマートフォンを操作しながらの歩行、いわゆる「歩きスマホ」については、法令等で禁止や制限がされているものではありません。

しかしながら、北川議員のご指摘のとおり、歩きスマホは周囲の状況が把握できず、単独の転倒や他の歩行者や車両などとの衝突、接触など、事故や事件につながる恐れがあるにもかかわらず、多くの人が歩きながらスマートフォンを操作しているのが現状です。

本市としましては、現時点では、事例を挙げていただいた自治体のように、条例を制定し、歩きスマホを規制するまでは考えていませんが、歩きスマホが危険な行為であることを、市民の皆様に認識いただけるよう、啓発に取り組むべき社会問題であると考えています。

すでに、本市では、朝夕の通勤通学時に多くの人で混雑するJR宝塚駅と阪急宝塚駅を結ぶ連絡橋に、歩きスマホの危険性を認識していただくためのポスターを掲示し、注意喚起を図っています。今後さらに、交通安全教室や防犯講習会をはじめ、街頭での交通安全や防犯に係る啓発活動などあらゆる場面で、歩きスマホの危険性についても呼び掛けていきます。

なお、社会情勢なども見据え、安全・安心な歩行空間の確保のために必要が生じれば、条例化による歩きスマホの規制等についても検討したいと考えています。

進捗状況:

継続

進捗状況説明欄:

学校園や地域での交通安全教室や自転車教室、街頭キャンペーンなどで、いわゆる「ながらスマホ」の危険性について呼びかけを実施しており、今後も様々な機会を通じて交通安全啓発に努めていきます。

都市安全部 (防犯交通安全課)